

令和2年3月2日

足立区立梅島第一小学校

校長 君塚 清春 様

足立区立梅島第一小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 櫻井 要一郎

令和元年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

自己評価書を読むと、学校が具体的な方策を決めて教育活動を行っている様子がうかがえます。とても分かりやすいと感じました。

学力向上については、授業はもちろん、学校独自で行っている放課後補習やサマースクールだけでなく、足立区の施策として実施している「あだち小学生夏休み学習教室」などを活用して、個別指導が必要な児童へも細かく配慮していることがうかがえました。

学校公開アンケートで「教師はほめたり励ましたりして、子供たちのよさを積極的に認めながら、子ども主体の授業を行っている」という項目に対して、肯定的な回答が91%、また「教師は指導のねらいを明確にし、学習教材・教具を有効に活用しながら、分かりやすい授業を心がけている」の質問に対しても肯定的な回答が96%となっていることも先生方の児童への指導・配慮を拝見して納得できます。

しかし、残念ながら、足立区で実施している「基礎学力定着に関する総合調査」では、平均正答率が昨年度より国語で9.3ポイント、算数で8.4ポイント下回っています。今年度は、問題傾向が以前とは異なったため子供たちが戸惑ったことが一因であるとの説明があり、承知いたしました。それでも通過率が概ね80%を超えているので安心しています。年度によって多少のアップダウンはあるかと思いますが、引き続きがんばってほしいと思います。基礎学力向上のポイントのひとつは、家庭での学習習慣の定着だと思います。保護者との連携を行っていただければ幸いです。

学校での子供たちは大変落ち着いていると思っています。授業参観では、両親はもちろん、祖父母、そして私たち協議会の参加が以前に比べて増えている

ように感じます。児童にとっても多くの方に見てもらえることは励みになることでしょう。また、地域の関心が高いことも素晴らしいことだと思います。

小中連携の活動の中で、中でも勉強会（中学校の授業体験）は中一ギャップの解消に効果的だと感じています。実際に中学校で授業を受けることにより、中学校の雰囲気を味わい、教科ごとに先生が替わるということを体験します。6年生の先生は大変だと思いますが、子供たちの進学時の心の負担を減らすには大切な活動だと思うので、これからもよろしくお願いします。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校のホームページを拝見させて頂くと、今年度も運動会、学芸会といった大きな行事はもちろん、それ以外の行事でも子供たちの活躍する様子がよく分かりました。事前の御指導は大変なものだったと思います。先生方の並々ならぬ御努力に感謝申し上げます。

先生方が日々努力をされていることは分かりますが、あえて苦言を呈させていただきます。学校公開アンケートにおいて「子供たちは進んであいさつをしている」の肯定的な回答が67%となっています。大変気になる結果です。あいさつは人と人を結ぶ架け橋だと言われています。是非、あいさつがあふれる梅一小になってくれればと思います。それには、私たち大人が子供たちにお手本を示さなければと思います。私たちが町の中でも笑顔であいさつを交わすことが大切なのかと思います。

2 その他

グリーンプロジェクトでは低学年の児童を中心にたくさんの人数が集まってくれました。今年は例年になく猛暑の中での開催となりました。大変感謝しています。来年も多くの子供たちや地域の方に参加していただければと考えています。

「梅一キッズ」のスタッフより、梅一小の子供たちは大変優しいとの言葉を頂いています。自分が褒められたのではありませんが、大変うれしい気持ちです。梅一小には梅一小にしかない温かさや穏やかさがあると感じています。先生方には、是非、次世代を担う子供たちのために力を貸していただければと思います。私たち協議会の委員も、地域の子供たちが一人でも多く梅一小に来るよう、がんばっていきます。